

# 令和3年度 学校評価報告書

園名	小野幼稚園
----	-------

## 1 教育目標

<ul style="list-style-type: none"> <li>よく考え、やりぬく子ども</li> <li>みんなとなかよくあそぶ子ども</li> <li>心豊かな子ども</li> </ul>
---------------------------------------------------------------------------------------------------------

## 2 今年度の重点目標

<p>「主体的に遊ぶ中で、自ら学ぼうとする力を育てる」</p> <p>～試行錯誤しながら学び合う姿を支える教師の援助を考える～</p>
---------------------------------------------------------------------

## 3 総合的な自己評価

<ul style="list-style-type: none"> <li>少人数保育の中で、どのような力が育ち、どのような力を必要としているのか、その力を育むためには、どのような経験や学びが必要なのかを職員間で確認し合いながら日々の保育に向き合ってきた。一人一人が十分に受けとめられ、安心、安定した幼稚園生活の中で、自分のやりたいことを見つけ、主体的に活動する姿が見られるようになってきている。</li> <li>地域の方々の力をお借りしながら、飼育、栽培活動など園生活を充実させることができた。また、限られた時間(期間)ではあるが、地域の方々との触れ合いを通し、「自分たちが大切にされている」「いつも見守ってもらっている」実感を得ることができた。</li> <li>コロナ禍だからこそ幼児に必要な体験は何か、こだわって話し合い、進めることができた。</li> </ul>
------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

## 4 総合的な学校関係者評価

<ul style="list-style-type: none"> <li>今年度、幼小合同で運動会、音楽会が開催され、小学生と楽しくかかわりながら生き生きと取り組んでいる様子が見られてよかった。幼小連携しながら日々、教育をすすめている様子が窺え、とても嬉しく思っている。</li> <li>子育て支援の1つとして3歳児を園に迎え、園児と一緒に活動できる場を提供し、保護者の子育ての悩みに寄り添おうとしていることは、とても素晴らしい。子育て世代の保護者を一人にしないよう、地域としても取り組んできているつもりだが、今後も幼稚園と一緒に様々な方面から支援していければと思う。</li> <li>感染症予防のため、今年度も子どもたちの様子を見る機会が減ってしまったのは残念である。しかし、園だよりにより、間接的ではあるが、子どもたちの成長の様子を知ることができたのは良かった。今後も制限はあるだろうが、今年度同様、子どもたちが様々な経験をしていけるよう工夫していってほしい。</li> </ul>
-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

## 5 評価結果

自己評価		学校関係者評価		
分野・領域	評価項目(取組内容)	評価結果及び分析	改善の方策	学校関係者評価委員会の意見
教育課程	学びに向かう力を豊かに育む保育内容の充実 ・4・5歳児混合保育の中で、幼児が自ら考え、手段を選び、目的をもって遊び込むための援助や環境構成の工夫。 ・一人一人の育ちや課題、集団としての育ちや課題の共通理解と、連携しあった保育の工夫。 ・少人数保育の課題を踏まえた上で、個々の育ちをお保障していくための保育の工夫。	<ul style="list-style-type: none"> <li>幼児の姿、教師の援助とその意図などを教師間で話し合い、幼児の心の動き、学びや育ちの姿を丁寧に捉えてきた。そしてそれを日々の保育に活かすよう心がけてきた。</li> <li>人とかかわりの中で上手いかかわることがあった時、「どう言えばよかったのか」「どうすれば伝わるのか」自分なりに考える機会を大切に、「伝えることで何とかなった」「分かってもらえた」などの体験ができるように支えてきた。</li> <li>小学生や近隣園の幼児の力を借りながら、多様な考え、多様な言動にふれる機会をもてるようにしてきた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教師の立ち位置を『隣に寄り添う』ところから、少しずつ後ろに下がりを、幼児を信じて『見守り』ながら、幼児同士の関係性を深めていく。</li> <li>幼児が友達と一緒に思いを伝わらせて遊ぶ姿を捉え、内面を探りながら見守っていく。</li> <li>相手の思いを知った時に、相手の思いを尊重したい気持ち、自分の思いを通したい気持ち、どうすればお互いの気持ちが納得できるのか、揺れる気持ちに寄り添い、しっかりと受けとめることで自ら考え答えを導き出し、いけるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>少人数で難しいことも多いと思うが、少人数のメリットを活かした保育をすすめているので、子どもたちは健やかに育っている。</li> <li>少人数だからこそ、一人一人の性格や発達状況に応じた保育がなされている。互いを思いやり、感情のコントロールをしたりする機会が大切にされている。</li> <li>今後、大人数の中に入った時の対応力が課題になってくるかもしれないので、その力を大切に育んでいってほしい。</li> </ul>
	健やかな体や心を育む取り組みの工夫 ・園内外の環境を活かし、様々な直接体験のできる工夫。 ・心弾ませ、のびのびと体を動かすことにより、健やかな心と体を育むことができる環境構成の工夫。	<ul style="list-style-type: none"> <li>自然豊富な園庭や遊戯室などのスペースを存分に使って、体を動かす面白さや楽しさを実感できる活動を工夫してきた。</li> <li>体の動きについて、特定の動きに留まることなく、様々な動きを体験できるように、活動内容を工夫してきた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>マスクを着用している時には体調管理に留意しながら、存分に体を動かして遊ぶ楽しさを味わえるようにする。</li> <li>“わくわく体操”を毎日継続して行ない、跳ぶ、バランスをとる、体を曲げる…などの様々な動きを体験できるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>広々とした園庭でのびのびと楽しく活動し、畑では様々な野菜を育てるなど、環境を活かした工夫が感じられる。今後も、この豊かな環境を活かし活動していってほしい。</li> </ul>
子育て支援	親と子の育ちの場としての役割や機能の充実 ・地域に住む子ども同士、親子、親同士が交流できる場の設定、隣接する校区や市内の親子が交流できる行事等の計画と推進。 ・子育て不安の解消と、親子ともども元気に過ごせるような地域ネットワークづくりの推進。	<ul style="list-style-type: none"> <li>『3歳児集まれ(なかよしタイム)』の地域への呼びかけにより、地域在住の幼児と保護者が園に集い、保護者同士や幼児同士が気軽に様々な話をすることができた。</li> <li>保護者の悩みに寄り添いながら、園での様子や具体的な援助の内容、成長の様子を伝え、かかわり方を一緒に考えていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>感染予防に努めながら、就園前の幼児、保護者がかかわれる機会をもてるようにする。</li> <li>年間を通して定期的に開催できるように計画する。</li> <li>コロナ禍の子育てで、保護者がストレスを抱え込まないように、保護者自身が発散できる場にもなるよう、雰囲気づくりを心掛ける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>就園前の子どもを子育て中の保護者が安心でき、他の保護者とのつながりをつくれる場としての大切な役割を果たしていると思う。今後も、子育て支援の場の提供、保護者支援に取り組んでいっていただきたい。</li> </ul>
	子育て支援型預かり保育の充実 ・保育の充実に向けた保育内容の工夫。	<ul style="list-style-type: none"> <li>預かり保育日が1日増え、保護者にとっては、気軽に利用しやすくなっている様子が窺える。</li> <li>家庭的な雰囲気の中でゆったりと過ごすことができるよう、園職員、預かり指導員が連絡を密にしながら運営してきている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>降園後に幼児同士がふれあって遊べる機会が少ないことから、利用される方が多い。ふれあいながら、ゆったりと遊べる時間と空間を確保していくようにする。また、就労による利用もあることから、保護者と連絡を取り合っ、利用しやすい体制をつくる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>預かり保育の日数が増えたことで、子ども同士のかかわりの場が確保でき、保護者支援にもつながるので、とても良いと思う。保護者のニーズを聴きとりながら進めていってほしい。</li> </ul>
学校園所連携	学校園所連携の推進 ・幼・小・中の連携推進と、内容の充実をめざした取り組みの推進。 ・保幼・小接続カリキュラムを軸とした、幼小の円滑な接続をめざした交流、連携の推進。 ・「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」を幼小職員で共有し、保育、教育につなげる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>従来の形にこだわることなく、「今、何が必要か」「どんな形なら連携交流できるのか」を考え合い、小学校や地域の方々、近隣園、中学校と相談しながら実施してきた。制限のある中で、手紙や Fax などを用いて、思いを伝え合う場を工夫することができた。</li> <li>保育や授業の中での幼児児童の様子を見合い、保育観、教育観を伝え合う時間を大切にしてきた。</li> <li>幼児同士が直接ふれ合って交流することができない時でも、どのように心をつないでいくのか、教師間で話し合いながら保育内容、交流手段を工夫してきた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>手紙や Fax、Webも用いながら、実際に出会ってふれあう機会をもてるよう計画していく。</li> <li>幼小、幼幼相互のねらいを明らかにしながら、目的をもって交流できるようにしていく。</li> <li>幼小教師の保育観、教育観を擦り合わせながら、一人一人に合った援助、クラスとしての援助を考えて、交流連携を計画実施していく。</li> <li>交流できていない期間も、教師間で話し合い、幼児、児童の様子を把握しておく。次回の交流まで、気持ちをつなげるような様々な媒体等を利用する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>幼小中の連携は、とても大切だと感じている。</li> <li>現在、幼稚園と小学校との連携がしっかりとできており、日々の活動、行事、緊急時、地域とかかわりの中で・・・と、互いに話し合っ進めていることが窺える。よく機能していると思う。今後も連携をしながら、子どもたちを共育していってほしい。</li> <li>中学校については、コロナ禍では難しいと思うが、今後 連携を密にしていってほしい。</li> </ul>
	園運営、園行事への保護者や地域住民の参画の促進 ・保護者、地域住民に幼稚園教育への理解と関心を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域に向けて園だよりを配布し、直接的な対話を心掛け、4・5歳児混合保育の中での幼児の学びや育ちについて積極的に伝えるようにしてきた。対話の中で幼稚園に関心をもってくださっている様子が窺えた。</li> <li>地域の方々の協力により、野菜の栽培や、昔からの生活の知恵、地域の素晴らしさなど教わるすることができた。</li> <li>地域のかかしづくりコンテストに参加し、地域の様々な方との交流をすることができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>読んで感想を伝えてくださる方もある。そのお貴重な意見を頂戴しながら、地域へ発信していきたいことをタイムリーに伝えていけるように計画していく。</li> <li>地域の方々の知恵をお借りしながら、幼児期に体験させていきたいことを実現していけるよう計画していく。</li> <li>地域の催し等に、自分たちで計画して参加できることを見つけていく。その中で地域の方とかかわりを大切にする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>コロナ禍で制約が多い中、直接幼稚園に出向く機会は少なかったが、地域配布の園だより等で子どもたちの姿が伝えられており、良かった。</li> <li>感染が落ちついた時に、また地域の人と盛んに交流できるようになればと思う。地域として出来ることは何でも協力したいと思っている。</li> </ul>